

令和 6 年度 新規・充実事業の実施結果

「令和 6 年度事業計画・収入支出予算書」で定めた新規・充実事業について、以下のとおり実施し、事業の充実を図りました。

事業名	実施内容・実績
<div>＜新規＞</div> <div>重層的支援体制整備事業の推進</div>	中央区における重層的支援体制整備事業の一環として、令和 6 年 4 月 1 日に区行政との連携・協働により「ふくしの総合相談窓口」を開設しました。「ふくしの総合相談窓口」に寄せられた多様な相談を包括的に受け止め、相談者に寄り添いながら複雑化・複合化した生活課題を整理し、関係機関と連携して支援することにより解決へとつなげることができました。また、こうした事例の積み重ねを通じて関係機関と顔の見える関係を築き、包括的な相談支援、アウトリーチ等を含めた継続的な支援のほか、参加支援、地域づくり支援の推進に向けた連携強化を図りました。
<div>＜新規＞</div> <div>京橋地域における新たな多世代交流スペースの開設</div>	日本橋地域（はまる一む）、月島地域（勝どきダイルーム）に続き、京橋地域における多世代交流スペースとして、令和 6 年 7 月から区役所本庁舎に「築地交流スペース ツキチカ！」を開設しました。「ツキチカ！」の活用により、地域団体の活動や新たな団体の立ち上げを支援するとともに、京橋地域の第 2 層協議体による地域のつながりづくりや「ふくしの総合相談窓口」との連携による関係機関とのネットワークづくりに取り組みました。
<div>＜充実＞</div> <div>居場所づくりやサロン活動に対する支援の充実</div>	多世代交流を図ることを目的とする「みんなの食堂」等、食事を提供する地域活動を行う団体に対して、運営経費の一部を補助する制度を新設しました。また、サロン活動に対して会場使用料の一部を補助するなど、住民が身近な地域でつながりづくりや課題解決のための活動に取り組めるよう、支援の拡充を図りました。
<div>＜充実＞</div> <div>受験生チャレンジ支援貸付事業の充実</div>	貸付要件である収入基準額や要件確認方法の緩和に伴う申請の増加に対応するため、窓口への来所を必須としていた申請手続きを郵送や Eメールでも可能とし、利用者の利便性向上を図りました。 併せて、本事業の利用のみでは解決できない複合的な課題を抱えた方の相談を受け止め、「ふくしの総合相談窓口」等につなぐなど、関係機関との連携による支援に取り組みました。

<p>＜充実＞</p> <p>新型コロナ特例貸付償還困難世帯へのフォローアップ支援の充実</p>	<p>令和２年３月から令和４年９月まで実施した新型コロナ特例貸付の償還困難世帯に対して生活実態の確認を行い、現状を把握するとともに、世帯の実情に応じて償還免除や猶予の申請手続を支援しました。また、「ふくしの総合相談窓口」等と連携しながらきめ細かなフォローアップを行い、個別の世帯に寄り添いながら生活再建等に向けた支援を行いました。</p>
<p>＜充実＞</p> <p>地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーター事業の充実</p>	<p>8050問題やひきこもりなど、複雑化・複合化した課題に関する相談について、地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーター、「ふくしの総合相談窓口」がともに連携しながら対応し、面談後のアウトリーチを含めた切れ目のない伴走支援を行いました。</p> <p>また、区内３ヵ所となった多世代交流スペースを活用しながら、地域活動の立ち上げ支援等の地域づくり事業を推進しました。</p>
<p>＜充実＞</p> <p>障害者就労支援センター事業における計画相談支援事業の充実</p>	<p>利用者が抱えている課題の解決や適切なサービスの利用に向けた、きめ細やかな計画相談支援体制の充実を図りました。また、研修の積極的な受講等により、相談支援専門員の専門性向上を図りました。</p>

I 社会福祉事業 本部拠点区分

499,962,453円

1 法人運営	217,506,534円
①理事会、評議員会等の開催	<p>(1) 理事会</p> <p>【第1回 5月22日(水)開催】</p> <p>議案第1号 令和5年度決算について</p> <p>議案第2号 中央区社会福祉協議会副会長兼常務理事に対する報酬等の改定について</p> <p>議案第3号 中央区社会福祉協議会経理規程の一部改正について</p> <p>議案第4号 第1回評議員会の招集について</p> <p>報告事項 本会職員の人事異動について等8件</p> <p>【第2回 10月11日(金)開催】</p> <p>議案第1号 令和5年度中央区地域福祉活動計画推進評価案について</p> <p>議案第2号 嘱託職員規程の一部改正について</p> <p>議案第3号 第2回評議員会の招集について</p> <p>報告事項 中央区各種功労者表彰受賞者及び東京都社会福祉協議会会長表彰・感謝受賞者について等10件</p> <p>【第3回 2月6日(木)開催】</p> <p>議案第1号 中央区社会福祉協議会職員執務規程等の一部改正について</p> <p>議案第2号 中央区社会福祉協議会経理規程の一部改正について</p> <p>議案第2号 第3回評議員会の招集について</p> <p>報告事項 事務局の組織改編について等7件</p> <p>【第4回 3月13日(木)開催(決議の省略)】</p> <p>議案第1号 令和7年度事業計画・収入支出予算について</p> <p>議案第2号 令和6年度補正予算について</p> <p>議案第3号 中央区社会福祉協議会事務局設置規程の一部改正について</p> <p>議案第4号 中央区社会福祉協議会情報公開規程等の一部改正について</p> <p>議案第5号 中央区社会福祉協議会経理規程の一部改正について</p> <p>報告事項 会長及び副会長兼常務理事の職務執行状況について等7件</p>

<p>(理事会、評議員会等の開催)</p>	<p>(2) 評議員会</p> <p>【第1回 6月14日(金)開催】</p> <p>議案第1号 令和5年度決算について</p> <p>議案第2号 中央区社会福祉協議会副会長兼常務理事に対する報酬等の改定について</p> <p>報告事項 本会職員の人事異動について等9件</p> <p>【第2回 11月7日(木)開催】</p> <p>報告事項 令和6年度中央区地域福祉活動計画推進評価について等12件</p> <p>【第3回 3月18日(火)開催】</p> <p>議案第1号 令和7年度事業計画・収入支出予算について</p> <p>議案第2号 令和6年度補正予算について</p> <p>報告事項 中央区社会福祉協議会事務局規程の一部改正について等15件</p> <p>(3) 定期監査、決算監査 5月14日(火)開催</p> <p>監査内容 令和5年度事業報告</p> <p>令和5年度新規・充実事業の取り組み結果</p> <p>令和5年度各拠点区分収入支出決算</p> <p>令和5年度末時点の財産目録・財産状況</p> <p>(4) 役員等研修会 7月23日(火)開催</p> <p>講演テーマ 司法×福祉～多職種連携が切り開く多様な地域づくり</p> <p>講師 ソーシャルワーカーズ法律事務所 代表弁護士 浦崎 寛泰氏</p> <p>(5) 総務委員会 11月26日(火)開催</p> <p>議題1 委員長及び副委員長の互選について</p> <p>議題2 令和7年度管理部所管事業について</p> <p>(6) 評議員選任・解任委員会 開催なし</p> <p>(7) 中央区社会福祉法人連絡会 6月12日(水)、2月12日(水)開催</p> <p>内 容 令和6年度の地域公益活動について</p> <p>法人の相互理解を目的とした分野別説明会を実施等</p>
-----------------------	---

②社協会員	<p>本会の活動に賛同いただける個人・団体・法人の会員を募集し、会費収入を本会事業の財源にしました。</p> <table><tr><td>会員区分</td><td>個人会員</td><td>団体会員</td><td>法人会員</td><td>賛助会員</td><td>合 計</td></tr><tr><td>会員数</td><td>966</td><td>147</td><td>32</td><td>12</td><td>1,157</td></tr></table>	会員区分	個人会員	団体会員	法人会員	賛助会員	合 計	会員数	966	147	32	12	1,157
会員区分	個人会員	団体会員	法人会員	賛助会員	合 計								
会員数	966	147	32	12	1,157								
③寄付の受領	<p>個人・団体・企業等から寄付金及び寄付物品を受け付け、本会事業や区内福祉施設・団体・ボランティアの支援等に活用しました。</p> <p>寄 付 金 3,785,272 円（ボランティア基金への寄付除く）</p> <p>物品寄付 43件（内容：車いす、食料等）</p>												
④広報	<p>（１）広報紙「中央区社協だより」の発行</p> <p>講座、募集、イベント、お知らせなどのカテゴリごとにまとめたページを作成し、見やすさを重視した紙面構成を行いました。6月発行の特大号では、事業内容をまとめて掲載しました。また全幼稚園児に配布対象を拡大しました。</p> <p>発行回数 年5回（4月、6月、9月、11月、1月）</p> <p>※うち6月、1月は特大号 11月号は事業所特集号として発行</p> <p>発行部数 1回あたり40,000～43,000部 ※うち新聞(5紙)折込20,500部</p> <p>事業所特集号 61,000部 ※うち新聞(6紙)折込40,500部</p> <p>配架先・配布先 区内施設、区内幼小中学校、関係団体</p> <p>（２）フェイスブックの運営</p> <p>各種事業やイベントの告知・報告記事にハッシュタグを付け、迅速に情報を発信するとともに、ホームページとの連携も意識して行いました。</p> <p>フェイスブック記事掲載回数83回</p> <p>アクセス数10,243回(令和6年10月1日～令和7年3月10日)</p> <p>（３）ホームページの運営</p> <p>ウェブサイト制作保守パートナーを変更し、使いやすさやデザイン面での改修を行いました。また、アクセス解析を行うための環境を構築し、解析に基づくサイト改善のコンサルティングを受ける体制を整えました。</p>												
⑤地域福祉活動計画・社協発展強化計画の推進	<p>地域福祉の推進を目的とした区民主体の活動・行動計画である「第2期中央区地域福祉活動計画（令和3年3月策定）」の中間の見直しを踏まえ、職員による4つのPT（プロジェクトチーム）を中心に検討を行うなど、組織・経営基盤の強化に向けた方向性を示した「社協発展・強化計画」を推進するための取り組みを実施しました。</p>												

<p>(地域福祉活動計画・社協発展強化計画の推進)</p>	<p><地域福祉活動計画推進評価委員会></p> <p>【7月26日（金）開催】</p> <p>議 題 1 「第2期中央区地域福祉活動計画中間見直し」について</p> <p>2 令和6年度中央区地域福祉活動計画推進評価について</p> <p>本会の主観的な評価に加えて、委員に本会事業の見学ができる機会を設けた上で事前アンケートを実施し、委員から意見を聴取しました。</p> <p><4つのPTによる取り組み></p> <p>(1) 広報PT（6回開催）</p> <p>前年度に引き続き、郵便局の広告入り封筒の配架を行いました。また、採用予定者や職員に対し、共に働く仲間がより一層身近に感じられるよう社内報を作成しました。</p> <p>今後は地域行事への参加のあり方や、ニジノコのさらなる活用とともに、地域活動情報発信事業のリニューアルに向けて、発信内容・媒体を検討していきます。</p> <p>(2) アウトリーチ・ニーズキャッチ推進PT（6回開催）</p> <p>「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」への組織横断的な参加により、地域生活課題を社協全体で把握するための取り組みを継続して行いました。また、新入職員向けのアウトリーチ・ニーズキャッチに関する説明会や、地域ささえあい課が実施する事例検討会をアウトリーチ・ニーズキャッチに関する理解を深める機会として活用しました。</p> <p>今後も職員のアウトリーチ・ニーズキャッチに対する理解を深める取り組みを行いながら、包括的な相談支援体制づくりについて引き続き検討していきます。</p> <p>(3) 業務改善PT（8回開催）</p> <p>財務の健全性の維持及び経営基盤の安定化を図ることを目的に、全職員に対し財源確保に関するアンケートを実施し、広く意見を募りました。また、業務継続計画（BCP）の内容について現状に合った修正案を提案するとともに、大規模災害時を想定した職員参集訓練を試行し、次年度以降の具体的な訓練実施に向けて提案しました。</p> <p>(4) 職員育成PT（8回開催）</p> <p>前年度に引き続き、職員間のつながりを強めることを目的に、経験年数及び職層ごとに懇談会・情報交換会をブラッシュアップし実施しました。また、職員ひとりひとりの行動指針（FNC）の定着とスキルアップにつなげられるよう、FNC対応チェックリストを新規に作成し、職員が参加する研修等を整理できるよう工夫しました。今後は各種懇談会・情報交換会を継続するとともに、上記リストを活用して、職員研修の見える化と充実を図ります。</p>
-------------------------------	---

<p>⑥社会福祉法人の連携による地域公益活動の実施</p>	<p>「おたよりでつなぐ“まごころ”プロジェクト」については令和6年度より今まで培ったつながりを活かした自主的な交流へシフトし、新たに交流希望があった2つの施設のマッチングを実施しました。また、今後のイベント開催に向けた法人の相互理解を目的として、分野別説明会を実施しました。</p> <p>連絡会の開催 2回（10月、2月）</p> <p>連絡会参加法人 21法人（令和7年3月31日現在）</p>
<p>⑦社会福祉充実計画の実施</p>	<p>社会福祉法の改正に伴い、社会福祉法人が保有する余裕財産（社会福祉充実残額）を社会福祉事業や公益事業に積極的・計画的に再投下するため、令和元年度に作成した社会福祉充実計画の内容を一部変更し、「令和3年度～令和8年度中央区社会福祉協議会社会福祉充実計画」を策定し、実施しています。</p> <p>令和6年度末社会福祉充実残額： 0円</p> <p>計画の対象期間：令和3年7月1日～令和9年3月31日</p> <p>※社会福祉充実事業に係る事業費が令和4年度の時点で見込額を上回っていたことにより、以後社会福祉充実残額が生じなくなることが明らかであるため、令和6年度において終了にかかる承認申請を行い、終了しました。</p>

2 地域福祉事業		8,597,857円		
①ひとり親家庭 日帰りバス研修	中央区ひとり親家庭福祉協議会との共催により、ひとり親家庭を対象とした相互の交流やレクリエーションを兼ねた日帰り研修を実施しました。			
	実施日	7月28日(日) 埼玉県羽生市等		
	内 容	むさしの村でのブルーベリー狩り体験や自由散策、さいたま水族館での自由散策		
	参加者数	33世帯75人		
②福祉関係物故者・戦争殉難者 盂蘭盆法要	区内の福祉関係物故者及び戦没者・戦争殉難者の諸霊供養の法要を中央区遺族会との共催により、築地本願寺の後援を得て執り行いました。			
	開催日	7月5日(金)	場 所 築地本願寺本堂	
	参列者数	133名(うち来賓67名)		
③車いす・シル バーカーの貸し 出し	(1) 車いすの貸し出し			
	歩行が不自由な高齢者や障害のある方または通院や旅行などで一時的に車いすを必要とする方に対し、区内6カ所で車いすの貸し出しを行いました。			
	また、利用者の利便性を図るため、タクシー会社と提携して区内一律1,100円で搬送サービスを行いました。			
	(2) シルバーカーの貸し出し			
	歩行が不自由な高齢者の外出を支援するため、シルバーカーの貸し出しと搬送サービスを行いました。			
	種別	保有台数	貸出件数	搬送サービス
	車いす	175台	616件	35件
	シルバーカー	30台	10件	3件
④福祉団体・施 設等助成	地域福祉の増進に資することを目的に、心身障害者団体等や福祉施設に対して事業費を助成しました。			
	中央区身体障害者福祉団体連合会	950,000円		
	中央区肢体不自由児者父母の会	250,000円		
	中央区心身障害者・児の進路と生活を考える会	550,000円		
	中央区視覚障害者福祉協会	198,000円		
	中央区聴覚障害者協会	70,000円		
	中央区ひとり親家庭福祉協議会	300,000円		
	中央区つつじ会	100,000円		
	中央区高齢者クラブ連合会	650,000円		

(福祉団体・施設等助成)	<div> <div>こばとおもちやのとしょかん</div> <div>220,000円</div> </div> <div> <div>月島聖ルカ保育園</div> <div>250,000円</div> </div> <div> <div>みちてる保育園</div> <div>100,000円</div> </div> <div> <div>リバーサイドつつじ</div> <div>100,000円</div> </div>
⑤入進学児童・生徒への祝い品贈呈	<div> <div>区立小学校に入学及び中学校に進学する低所得世帯の児童や生徒に、全国百貨店共通商品券を贈りました。</div> <div> <div>贈呈先</div> <div>小学校入学者 88名 中学校進学者 95名</div> </div> <div> <div>贈呈額</div> <div>1人 10,000円</div> </div> </div>
⑥ひとり親職業訓練貸付事業	<div> <div>ひとり親家庭の親の就職促進と自立を図ることを目的に、就職に有利な資格が取得できる養成機関の入学準備金と、取得した資格を生かした就職時の準備金、住居の借り上げに必要な資金の貸し付け事業を行いました。</div> <div> <div>入学準備金</div> <div>0 件</div> </div> <div> <div>就職準備金</div> <div>0 件</div> </div> <div> <div>住宅支援資金</div> <div>1 件 (480,000円)</div> </div> </div>
⑦ハンディキャブの貸し出し	<div> <div>車いす利用者や歩行が不自由で介護が必要な方が外出する時、車いすのまま乗降できるハンディキャブ（リフト・スロープ付き自動車）の貸し出しを行いました。運転者がいない場合は、運転ボランティアの紹介を行いました。</div> <div> <div>(1) 貸出実績</div> <div> <div>保有台数</div> <div>2 台</div> <div>貸出件数</div> <div>235件</div> </div> <div> <div>ハンディキャブ利用会員数</div> <div>40名</div> </div> <div> <div>運転ボランティア登録者数</div> <div>5 名 (紹介件数46件)</div> </div> </div> <div> <div>(2) 運転ボランティア活動連絡会</div> <div> <div>運転ボランティアを対象に、事業主旨の再確認とともに、運転ボランティア同士の交流や情報交換の場として開催しました。</div> <div> <div>開催日</div> <div>3月13日 (木)</div> <div>会場</div> <div>本会小会議室</div> <div>参加者数</div> <div>3 名</div> </div> </div> </div> </div>

3 小地域活性化事業

3,477,680円

①会食と交流事業「ほがらかサロン」

ひとり暮らし等により、家に閉じこもりがちな高齢者の孤独感や不安感の解消、介護予防を目的に、食事や会話をしながらレクリエーション等で楽しく過ごす「ほがらかサロン」を、地域のボランティアが主体となって運営しました。

開催日及び場所 第2木曜日 日本橋社会教育会館（日本橋地域）
第3木曜日 男女平等センター「ブーケ21」（京橋地域）
第4木曜日 シニアセンター（佃地域）
月島社会教育会館（月島地域）

参加者数 延べ594名

【小地域活性化事業令和6年度地域活動団体交流会】

「いきいき地域サロン」・「ふれあい福祉委員会」・「ほがらかサロン」に「高齢者通いの場」と「認知症カフェ」を加え、運営スタッフの情報交換と交流を目的とした交流会を開催しました。

開催日：12月13日（金） 会場：男女平等センターブーケ21

参加団体数：29団体

②ふれあい福祉委員会

高齢者や障害のある方をはじめ、誰もが地域の中で孤立することなく自立した生活を送ることができるよう、町会・自治会等の近隣住民が支えあい、助けあう、小地域福祉活動を支援し、区民による福祉の向上を図りました。

〔設置地区〕16地区

助成総額 1,120,000円（助成委員会数 16委員会）

京橋地域 (4地区)	新富地区ふれあい福祉委員会 湊一丁目地区ふれあい福祉委員会 湊二丁目地区ふれあい福祉委員会 明石町アパート地区ふれあい福祉委員会
日本橋地域 (10地区)	人形町三丁目西町地区ふれあい福祉委員会 人形町二丁目一之部地区ふれあい福祉委員会 人形町2丁目浪花会地区ふれあい福祉委員会 箱崎町箱四地区ふれあい福祉委員会 東日本橋一丁目地区ふれあい福祉委員会 東日本橋三丁目地区ふれあい福祉委員会 浜町二丁目金座地区ふれあい福祉委員会 日本橋浜二地区ふれあい福祉委員会 浜町三丁目東部地区ふれあい福祉委員会 茅場町二・三丁目地区ふれあい福祉委員会
月島地域 (2地区)	勝どき一丁目アパート1号棟地区ふれあい福祉委員会 晴海ビュータワー地区ふれあい福祉委員会

③いきいき地域
サロン

高齢者や障害のある方、子育て中の方などが、住み慣れた地域でいきいきとした生活を送ることができるよう、自主的・自発的に地域でサロン活動を行う団体を支援しました。

〔登録団体〕 19団体

助成総額 525,493円（助成団体数 17団体）

名 称	主な参加者	活動内容
サロンひまわり	高齢者	手芸を通しての地域交流
のびのびクラブ	高齢者	体操を通しての介護予防と交流
カフェキャナル	高齢者	健康体操・脳トレ等を通しての交流
R65月島カフェ	高齢者	スマホ勉強会と情報交換と交流
佃の渡しサロン	高齢者	健康や介護に関する情報交換と交流
絵画を楽しむ会	高齢者	絵画、茶話会を通しての交流
サロン勝どき	高齢者	健康等に関する講座と交流
介護を考える会	地域住民	介護に関する情報交換と交流
読・書・人・倶楽部	地域住民	読書会を通しての地域交流
写真を撮り語り楽しむ会	地域住民	写真を通しての地域交流
ぽかぽかサロン	地域住民	語り、学び、趣味などを通しての交流
ワーママカフェ	子育て中の親	働く母親の情報交換と交流
Kele Kele	子どもと親	子育てに関する情報交換と交流
子育てサロンユルっと銀座	子どもと親	子育てに関する情報交換と交流
ままと	子どもと親	ハンドメイドを通しての子育て・多世代交流
リバーサイドツインズ	多胎児と親	多胎児家庭の情報交換と交流
でこぼこカフェ	発達障害児と親	子育てに関する情報交換と交流
ReiMo	不登校児と親	子育てに関する情報交換と子どもの交流
かなで	不登校児と親	子育てに関する情報交換と子どもの交流

4虹のサービス事業（区民どうしのたすけあい家事サポート）3, 4 3 3, 1 8 9 円

①虹のサービス

高齢者や障害のある方、産前産後の方など、日常生活上何らかの援助を必要とする利用会員に対して地域の協力会員が家事援助サービスを提供する、共に支えあう会員制の在宅福祉サービスを実施しました。

また、研修の案内や活動状況等の情報提供のため、会報「虹色」を年4回発行しました。

(1) 利用相談等実績

種 別	実績件数
相談受付	153件
職員訪問調査等	75件
職員初回活動への同行	37件

(2) 会員登録状況

居住地域		利用世帯	男性	女性	合計
利用 会員	京 橋	17世帯	5名	14名	19名
	日本橋	21世帯	7名	17名	24名
	月 島	25世帯	6名	21名	27名
	合 計	63世帯	18名	52名	70名
協力 会員	京 橋	—	7名	42名	49名
	日本橋	—	2名	45名	47名
	月 島	—	14名	41名	55名
	区 外	—	5名	7名	12名
	合 計	—	28名	135名	163名

(3) 活動実績

種 別	実 績
利用・活動回数	2,750件
利用・活動時間	4,011時間
預託点数	221点

(虹のサービス)	(4) サービス内容別件数		
	サ ー ビ ス 内 容	延件数 (件)	構成比 (%)
	掃 除	1,613	34.2%
	買 い 物	577	12.2%
	食 事 の 支 度	489	10.4%
	話 相 手	487	10.3%
	見 守 り	417	8.8%
	洗濯・補修・アイロンかけ	334	7.0%
	外出の付き添い	309	6.6%
	車いすの介助	113	2.4%
	身 辺 介 助	77	1.6%
	代 行	44	0.9%
	布 団 干 し	7	0.2%
	代 筆 ・ 代 読	2	0.1%
	そ の 他	250	5.3%
	合 計	4,719	100%
(5) 協力会員向け研修会等の開催			
協力会員の活動に必要となる知識や技術の習得と向上を目的とする研修会を実施しました。また、協力会員相互の親睦と交流を深めるとともに、知識と見聞を広げ、今後の活動の質の向上を図るため、日帰りのバス研修を実施しました。			
研修会開催回数 2回 参加者 46名			
日帰りバス研修 開催日 12月4日(水) 参加者 25名			
内容 首都圏外郭放水路見学			
②在宅福祉サービス部運営委員会	【3月7日(金)開催】		
	議題1 委員長、副委員長の選出について		
	2 在宅福祉サービス推進基金の一部処分について		
	3 令和6年度在宅福祉サービス部事業の実施状況について		
	4 事務局の組織改編について		
	5 令和7年度在宅福祉サービス部事業の実施方針について		
	6 高齢者食事サービス事業における業者配食内容確認(検食)		

5 成年後見支援事業（成年後見支援センター「すてっぷ中央」）

53,348,976円

①権利擁護支援事業（財産保全・管理サービス、福祉サービス利用援助事業）

高齢者や障害のある方が地域で安心して暮らしていけるよう、福祉サービス利用手続きのお手伝いや財産の保全、金銭管理等のサービスを実施しました。

（１）相談件数

対 象 者	新規相談	契約前支援	合 計
高齢者	20件	114件	134件
認知症高齢者	11件	215件	226件
知的障害者	0件	0件	0件
精神障害者	7件	245件	252件
その他	15件	64件	79件
合 計	53件	638件	691件

（２）契約状況

サービス事業名	契約件数	契約者内訳
財産保全サービス	2件	高齢者2件
財産管理サービス	22件	高齢者20件、身体障害者2件
福祉サービス利用援助事業	37件	知的障害者2件、精神障害者10件 認知症高齢者24件、その他1件
合 計	61件	

（３）サービス活動状況

サービス事業名	延回数	延時間数	連絡調整(※)	解約後の事務(※)
財産保全サービス	2回	2.0時間	9回	2回
財産管理サービス	359回	503.5時間	758回	0回
福祉サービス利用援助事業	627回	866.0時間	1,880回	39回
合 計	988回	1,371.5時間	2,647回	41回

※契約者、関係機関等との連絡回数

②成年後見支援事業

判断能力が不十分な方が安心してその人らしい生活を送れるよう、本人の権利と財産を守る成年後見制度の利用に関する総合的な相談支援を行いました。

（１）一般相談・福祉法律相談

成年後見制度に関する相談をはじめ、高齢者や障害のある方の福祉サービス利用や、その他生活全般に関する相談に応じました。

また、成年後見制度や遺言・相続に関するトラブル、高齢者や障害のある方の権利侵害に関する相談などに専門の弁護士が対応しました。

(成年後見支援事業)

[一般相談件数]

対 象 者	成年後見	その他	合 計
高齢者（認知症含）	2,428件	366件	2,794件
知的障害者	80件	4件	84件
精神障害者	326件	49件	375件
その他	198件	131件	329件
合 計	3,032件	550件	3,582件

[福祉法律相談件数]

遺言・相続	成年後見	権利侵害	その他	合 計
5件	3件	3件	1件	12件

(2) 後見等申立ての支援

成年後見制度の申立てが必要な方に対し、適切な後見人候補者の紹介、申立書類作成の支援等を行いました。

候補者等紹介件数 47件 申立手続き支援件数 17件 計 64件

(3) 出前講座

成年後見制度や権利擁護支援事業について、出張説明会を行いました。

開催日	対 象 者	場 所	参加者
5月7日（火）	高齢者通いの場 「八丁堀元気ひろば」 利用者	京華スクエア	18名
11月13日（水）	ポケット中央 デイケア利用者	福祉センター	5名
12月3日（火）	高齢者通いの場 「八丁堀元気ひろば」 利用者	京華スクエア	21名
12月8日（日）	ポケット中央公開講座 参加者	教育センター	49名
1月17日（金）	心身障害児・者の進路 と生活を考える会	福祉センター	10名
3月21日（金）	敬老館利用者	いきいき勝どき	2名

(4) 講演会・相談会等

成年後見制度について幅広く周知し、理解を深めるため、講演会や講座を開催しました。また、親族後見人を支援する講座・交流会や、成年後見制度・遺言・相続・死後事務等終活に関する座談会・個別相談会を実施しました。

開催日	内 容	参加者
4月23日（火）	成年後見申立講座 基礎編	24名
4月30日（火）	成年後見申立講座 応用編	20名
5月20日（月）	福祉関係者等向け成年後見制度研修	19名

(成年後見支援事業)	7月12日(金)	親族後見人向け講座・交流会	5名
	7月20日(土)	成年後見センター講演会	35名
	7月20日(土)	成年後見制度無料個別相談会 ※成年後見センター・リーガルサポートとの共催	8組
	9月20日(金)	親族後見人向け講座・交流会	5名
	11月19日(火)	成年後見申立講座 基礎編	26名
	11月19日(火)	成年後見申立講座 応用編	24名
	11月28日(木)	成年後見制度入門講座	6名
	12月6日(金)	福祉関係者等向け成年後見制度研修	1名
	12月14日(土)	親族後見人カフェ	3名
	1月23日(木)	成年後見制度出張ミニ講座	8名
	2月8日(土)	親族後見人向け講座・交流会	8名
	2月20日(木)	終活座談会&個別相談会 ※東京公証人会、東京司法書士会中央支部、 東京都行政書士会中央支部との共同開催	21名 13組
	3月7日(金)	成年後見制度出張ミニ講座	13名
	※11月28日及び12月6日の講座は「区民後見人(社会貢献型後見人)を目指す方のための基礎講習」のプログラムの一部を聴講形式で実施しました。		
	(5) 区民後見人(社会貢献型後見人)養成研修の実施 (港区社会福祉協議会と共催)		
	開催日	内 容	受講者数
	11月28日(木) ～12月18日(水) 全5日間	成年後見制度の基本理念や概要、対象者理解、 関連法制度の解説、後見実務の実際、演習等 全15プログラム	1名
	(6) 後見活動メンバー向け研修		
	区民後見人(社会貢献型後見人)候補者としての資質向上と、後見活動メンバー(区民後見人養成研修修了生)の交流を深めることを目的に、研修会を開催しました。		
	①フォローアップ研修 開催回数 2回 参加者 延30名 ※うち1回は港区社会福祉協議会と共催		
	②成年後見制度の対象者理解促進研修 開催回数 4回 参加者 14名 ※12月4日及び12月6日に実施した「区民後見人(社会貢献型後見人)を目指す方のための基礎講習」のプログラムの一部に聴講形式で参加		
	(7) 区民後見人(社会貢献型後見人)に対する後見監督の実施		
	区民後見人(社会貢献型後見人)の成年後見監督人及び保佐監督人を受任し、区民後見人への支援、監督を行いました。		

<p>(権利擁護支援推進協議会)</p>	<p>【第3回 2月21日(金)開催】</p> <p>議題1 本会后見活動メンバーの後見人等候補者としての推薦について</p> <p>2 成年後見制度費用助成(後見報酬)の可否について</p> <p>報告1 区民後見人(社会貢献型後見人)の活動状況について</p> <p>2 受任者調整状況報告(令和6年10月～令和7年1月分)</p> <p>3 「区民後見人(社会貢献型後見人)を目指す方の基礎講習」実施報告</p> <p>4 第2回権利擁護支援地域関係者ネットワーク連絡会実施報告</p> <p>5 令和6年度事業報告</p> <p>6 令和7年度事業計画</p>
<p>⑤権利擁護支援地域関係者ネットワーク連絡会</p>	<p>権利擁護支援を必要とする人を適時適切につなげるため、司法・福祉等の専門職団体、地域関係者、行政等幅広い関係者が参加する地域連携ネットワークの拡充に取り組みました。</p> <p>「権利擁護支援地域関係者ネットワーク連絡会」を開催し、日頃から顔の見える関係づくりに努め、地域における関係者の連携強化を図りました。</p> <p>【第1回 9月27日(金)開催】 参加者：24団体 36名</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中央区医師会からの事業紹介 ・グループワーク <p>事例1：無職となった若年性認知症の方へのアプローチ 事例2：相互依存している高齢の母と知的障害者の息子 事例3：家庭崩壊の危険がある親子への支援 ※各事例の「各登場人物の課題・問題点」及び「想定される支援機関および利用可能な社会資源」について意見交換</p> <p>【第2回 1月24日(金)開催】 参加者：22団体 42名</p> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループワーク <p>事例1：無職となった若年性認知症の方へのアプローチ 事例2：相互依存している高齢の母と知的障害者の息子 事例3：家庭崩壊の危険がある親子への支援 ※各事例の「具体的な支援内容」及び「チーム支援により期待される効果」について意見交換</p>

<p>(ボランティア活動の支援)</p>	<p>(6) 資器材等の貸し出し</p> <p>ボランティア活動を支援するため、資器材や印刷機の貸し出しを行ったほか、資料などを作成する作業コーナーを提供しました。</p> <p>〔貸出数〕 資器材772件 印刷機278件 書籍 0 件</p> <p>(7) 使用済み切手・書き損じハガキの収集</p> <p>使用済み切手・書き損じハガキを収集し、ボランティア団体によって整理分類した後、事業者を通して換金し、収益はすべてボランティア基金への積立金としました。</p> <p>〔収集量〕 使用済み切手 325.8kg 書き損じハガキ 538枚</p> <p>(8) ボランティア活動事業運営委員会の開催</p> <p>【第1回 5月27日(月)開催】</p> <p>議題等 登録ボランティア団体助成にかかる令和5年度精算報告及び令和6年度助成(前期)について</p> <p>令和5年度ボランティア・区民活動センター事業報告</p> <p>夏休み福祉・ボランティア体験「イナっこ教室2024」の実施について</p> <p>「中央区健康福祉まつり2024」の実施について</p> <p>令和5年度事業報告(10月～3月)</p> <p>【第2回 11月28日(木)開催】</p> <p>議題等 令和6年度登録ボランティア団体助成(後期)について</p> <p>夏休み福祉・ボランティア体験「イナっこ教室2024」実施報告</p> <p>「中央区健康福祉まつり2024」実施報告</p> <p>令和6年度事業報告(4月～9月)</p> <p>【第3回 3月25日(火)開催】</p> <p>議題等 災害ボランティアセンター運営訓練実施報告</p> <p>ボランティア交流会実施報告</p> <p>本会事務局の組織改編に伴う本委員会の名称等について</p> <p>令和7年度事業予定</p>
----------------------	---

<p>②ボランティア講座</p>	<p>ボランティア活動の普及啓発と、ボランティアへの参加を促進するため、講座を開催しました。</p> <p>(1) ボランティア講座</p> <p>①相手の気持ちに寄り添う傾聴講座（生涯学習基礎講座ボランティア編）</p> <p>区と連携し、ボランティア活動や地域活動の基礎知識である“傾聴”について学ぶ機会を提供しました。</p> <p>開催日 9月17日（火）～10月8日（火） 計 4回</p> <p>会 場 本会会議室 参加者数 14名（延べ54名）</p> <p>②障害理解講座</p> <p>第25回夏季デフリンピック競技大会東京2025が、令和7年11月15日～26日に開催されることが決定し、プレイベントも開催されるなど、聴覚障害について広く普及される機運が高まっていました。</p> <p>この状況を受け、本会においても聴導犬を知ることを通じて、障害理解を深めることを目的として講座を開催しました。</p> <p>開催日 2月1日（土）参加者 80名</p> <p>会 場 中央区役所会議室</p> <p>(2) 夏休み福祉・ボランティア体験講座「イナっこ教室」</p> <p>学校の夏休み期間中に、小学生以上を対象に区内福祉施設・団体の協力を得て、夏休み福祉・ボランティア体験を実施しました。</p> <p>開催期間 7月20日（土）～8月31日（土）</p> <p>設定活動数 59活動</p> <p>申込者数 188名（小学生78名、中学生57名、高校生32名、大学生等9名、成人12名）</p> <p>参加者数 165名 活動延べ人数 371名</p> <p>(3) 福祉体験講座</p> <p>ボランティアや福祉に関心のある学校、企業、団体などに出向き、車いす体験や点字体験等の講座を開催しました。</p> <p>開催回数 学校27回（43講座） その他 8回（12講座）</p> <p>参加者数 延べ3,344名 講師ボランティア数 延べ136名</p>
<p>③ボランティア団体等助成</p>	<p>ボランティア活動を推進するため、活動団体への助成を行いました。</p> <p>(1) 登録ボランティア団体への助成</p> <p>助成数 20団体 助成額 1,243,745円</p> <p>(2) 登録ボランティア団体協働事業助成</p> <p>助成件数 0件 助成額 0円</p>

7 健康福祉まつり事業

5,188,375円

地域で生活する障害のある方や高齢者、ボランティアなど多くの人々が参加し、ふれあいと交流の機会を通じて相互の理解と親睦を深め、ノーマライゼーションの推進を図ることを目的に、実行委員会及び区と共催で「健康福祉まつり」をコロナ禍以前の形態に戻して開催しました。

開催日 10月27日（日）

会場 あかつき公園、福祉センター、子ども発達支援センター、教育センター
中央区保健所

来場者数 3,900名

参加団体 67団体

（内訳）登録ボランティア団体 17団体

地域活動団体・NPO団体 28団体

民生・児童委員協議会、薬剤師会等 11団体 主催者 11団体

8 地域活動情報等発信事業

2,226,260円

区民相互の理解を深め協働推進の一助とするため、区民等により日常的に行われている各種の地域活動に関する情報を広く収集し、「中央社協のまちひとサイト」ブログを通じて発信しました。

ブログ掲載記事数 198本 閲覧総数 12,422回

9 災害ボランティア育成支援事業

502,705円

大規模自然災害発生時における災害ボランティアの受入体制を整備するほか、災害ボランティアセンターを円滑に設置・運営できるよう、講座や訓練を実施しました。

（1）中央区総合防災訓練の参加（台風のため中止）

（2）災害ボランティア入門講座の実施

災害ボランティアについての正しい知識や心構えを理解してもらうため、災害ボランティアを志す区民等を対象に講座を開催しました。

開催日 1月25日（土） 会場 本会会議室 参加者数 10名

(3) 災害ボランティアセンター運営訓練の実施

本会職員と区民ボランティア等を対象に、災害ボランティアセンターの仕組みや支援の流れなどを全体的に把握することを目的とした運営訓練を実施しました。

また、新入職員を対象に災害ボランティアセンターについての講義研修を実施しました。

開催日 2月14日(金) 会場 中央区役所会議室

参加者数 38名(職員26名、区民ボランティア等12名)

(4) ボランティア保険(天災Cプラン)の保険料助成

被災地で活動する区民や区内在勤者を対象に、ボランティア保険の保険料を助成しました。

助成額 1,400円/名(天災Cプランの保険料全額) 助成者数 33名

10 高齢者食事サービス事業

21,125,033円

調理が困難な70歳以上(要支援・要介護認定者は65歳以上)のひとり暮らし・高齢者世帯・日中独居の在宅高齢者を対象に、栄養バランスの向上と安否確認を兼ねて、昼食と夕食を配膳しました。カロリーやたんぱく質の摂取制限がある方には特別食を配食したほか一部の地域では、区民である食事サービス協力員による配食も行いました。

また、利用者へのサービス向上と安定的な事業継続のため、平成28年度から複数業者による配食を行っています。

※1人当たりの配食数：昼食・夕食あわせて週14食以内

(1) 年間配食数 (単位：食)

業 者							協力員	計		
昼 食			夕 食				業者計		昼食のみ	
一般食	特別食			一般食	特別食					
	エ ギ 調	ネ ー 整	ル ー 食		たんぱく 質 調	たんぱく 質 整				食
35,929	1,809	889	48,768	2,048	786	90,229	112	90,341		

(2) 生活区分別対象者数 (単位：名)

		ひとり暮らし	高齢者世帯	日中独居	計
一般食		220	154	26	400
特別食	エネルギー調整食	8	5	0	13
	たんぱく質調整食	2	5	1	8
一般・特別併用		1	1	0	2
計		231	165	27	423

11 ファミリー・サポート・センター事業

23,322,876円

子育ての支援を受けたい方(依頼会員)と子育ての手助けができる方(提供会員)を会員とする、ファミリー・サポート・センター事業を実施し、地域での支え合いによる子育てを支援しました。

(1) 会員登録状況

会員種別	京 橋	日本橋	月 島	区 外	合 計
依頼会員	355名	456名	792名	0名	1,603名
提供会員	59名	64名	144名	7名	274名
両方会員	16名	23名	36名	0名	75名

(2) 活動内容別件数・時間数

活 動 内 容	延件数	延時間数	比率(%)	
	(件)	(時間)	件数	時間数
保育所・幼稚園の登園前の預かり及び送り	190	150	10.5%	5.3%
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の預かり	645	1,143	35.8%	40.2%
保育所・幼稚園の登園前の預かり	0	0	0.0%	0.0%
保育所・幼稚園の帰宅後の預かり	3	6	0.2%	0.2%
保育所・幼稚園までの送り及び迎え	68	64	3.8%	2.3%
学童の放課後の援助	15	40	0.8%	1.4%
学童保育の迎え及び帰宅後の預かり	24	78	1.3%	2.8%
学童保育からの帰宅後の預かり	78	266	4.3%	9.4%
子どもの病気回復時の援助	1	5	0.1%	0.2%
子どもの習い事等の場合の援助	187	179	10.4%	6.3%
保育所・学校等休み時の援助	41	150	2.3%	5.3%
保育所等施設入所前の援助	0	0	0.0%	0.0%
保護者等の短期間・臨時的就労の場合の援助	19	98	1.1%	3.5%
保護者等の求職活動中の援助	0	0	0.0%	0.0%
保護者の冠婚葬祭による外出の援助	0	0	0.0%	0.0%
保護者等の外出の場合の援助	33	119	1.8%	4.2%
保護者等の病気、その他急用等の場合の援助	167	190	9.3%	6.7%
他の子どもの学校行事の場合の援助	2	4	0.1%	0.1%
保護者の妊娠中及び産後の援助	175	154	9.7%	5.4%
その他	153	189	8.5%	6.7%
合 計	1,801	2,835	100%	100%

(3) 会員向け講習会の開催

会員を対象に、幼児安全法講習やスキルアップ講習、ヒヤリハット講習を実施しました。

〔講習会〕 開催回数 14回 参加者 延べ45名

(4) 「ファミリー・サポート・センターおたより」の発行

事業に関する情報提供及び普及啓発を図るため、会報「ファミリー・サポート・センターおたより」を発行し、会員への配付や区内施設等での配布を行いました。

発行回数 年4回 発行部数 合計10,300部

12 コミュニケーション支援事業

2,641,480円

聴覚に障害のある方や団体等に登録手話通訳者・要約筆記者を派遣し、日常生活や団体活動等が円滑に行えるよう支援したほか、必要に応じ東京手話通訳等派遣センターの登録手話通訳者・要約筆記者の派遣を行いました。

また、登録手話通訳者の定期研修を実施しました。

(1) 登録者数

利用登録者 28名 登録手話通訳者 23名 登録要約筆記者 3名

(2) 活動実績

種 別		派遣延件数	延利用時間
本会からの派遣	手話通訳者	216件	641時間
	要約筆記者	21件	49時間
東京手話通訳等派遣センター等への委託による派遣	手話通訳者	4件	8時間
	要約筆記者	30件	98時間

(3) 登録手話通訳者定期研修（読み取り・聞き取り技術研修、通訳現場における事例等の講義）

開催回数 8回 参加者数 延べ138名

13 障害者外出介護事業

3,346,873円

視覚障害・知的障害のある方の通院及び日常生活上必要な外出等を支援するため、登録移動介護ヘルパーを派遣したほか、研修等を実施しました。

(1) 登録者数

【利用契約者】

視覚障害者 8名

知的障害者 8名

【移動介護ヘルパー】

視覚障害者移動介護ヘルパー 16名

知的障害者移動介護ヘルパー 10名（全員視覚障害者移動介護ヘルパー兼務）

(2) 実績

【居宅介護事業（医療機関等への通院介助）】

利用契約者 視覚障害者3名 知的障害者2名

利用件数 29件 利用時間 99時間

【同行援護事業（重度視覚障害者の外出支援）】

利用契約者 視覚障害者8名

利用件数 221件 利用時間 591.5時間

【移動支援事業（日常生活上必要不可欠な外出及び社会参加のための外出介助）】

利用契約者数 視覚障害者2名 知的障害者8名

利用件数 97件 利用時間 431時間

(3) 研修等

【登録移動介護ヘルパー研修（移動介護技術・虐待防止・BCP研修）】

開催日	会場	参加者数
6月20日（木）	本会会議室	5名
6月29日（土）	本会会議室	10名

【虐待防止・身体拘束適正化委員会】

開催日 3月10日（月） 会場 さわやかワーク中央会議室

内 容 虐待防止・身体拘束適正化計画の見直し、事例検討等

（さわやかワーク中央、中央区障害者就労支援センターと合同で開催）

14 チャレンジ支援貸付事業

8, 462, 001円

中学3年生及び高校3年生等の学習塾・通信講座等の受講費用並びに高校・大学等の受験料の貸し付けを行いました。貸付要件が緩和されたことにより、貸付実績の拡大を図ることができました。

〈充実事業〉

貸付要件である収入基準額や要件確認方法の緩和に伴う申請の増加に対応するため、窓口への来所を必須としていた申請手続きを郵送やEメールでも可能とし、利用者の利便性向上を図りました。併せて、本事業の利用のみでは解決できない複合的な課題を抱えた方の相談を受け止め、「ふくしの総合相談窓口」等につなぐなど、関係機関との連携による支援に取り組みました。

(1) 相談件数

新規 96件 継続 542件 計638件

(2) 貸付実績

塾代等受講費用 30件 貸付決定金額 5,460,500円

受験料 34件 貸付決定金額 1,415,200円

(1) 生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金相談・貸付件数				
資 金 種 類		貸付前相談 件 数	貸付後相談 件 数	貸付決定 件 数
		貸付決定金額		
生活福祉資金				
福祉費（転宅費等）	金融機関や公的制度での借り入れが困難な低所得者世帯等に対し、経済的自立と生活の安定を図るため、民生委員による相談援助のもと、資金の貸し付けを行いました。	267	123	0
緊急小口資金		※令和6年度貸付実績なし		
		182	82	0
教育支援資金		※令和6年度貸付実績なし		
		221	392	0
		※令和6年度貸付実績なし		
離職者支援資金 （新規貸付終了）	収入の減少や離職等により生活に困窮し、日常生活全般に困難を抱えた世帯に対し、継続的な相談支援と生活費及び一時的な資金の貸し付けを行いました。	—	51	—
総合支援資金		—		
		251	166	2
		¥362,000		
不動産担保型 生活資金	現在居住している自己所有の不動産や家屋に、将来にわたり住み続けることを希望する高齢者世帯に対し、その不動産を担保として生活資金の貸し付けを行いました。	38	32	0
要保護世帯向け不動産 担保型生活資金		※令和6年度貸付実績なし		
		3	0	0
		※令和6年度貸付実績なし		
臨時特例つなぎ資金	住居を喪失し、公的給付制度又は公的貸付制度の申請を受理されている離職者に対し、当該給付等が開始されるまでの一時的な生活費の貸し付けを行いました。	10	0	0
		※令和6年度貸付実績なし		
その他	どの資金にも該当しない相談	215	20	—
合 計		1187	866	2

(2) 新型コロナウイルス感染症に係る生活福祉資金特例貸付（フォローアップ支援）

〈充実事業〉

令和2年3月から令和4年9月まで実施した新型コロナ特例貸付の償還困難世帯に対して生活実態の確認を行い、現状を把握するとともに、世帯の実情に応じて償還免除や猶予の申請手を支援しました。

また、「ふくしの総合相談窓口」等と連携してきめ細かなフォローアップを行い、個別の世帯に寄り添いながら生活再建等に向けた支援を行いました。

①緊急小口資金特例貸付（貸付金額上限20万円）

申請後相談 731件

②総合支援資金特例貸付（貸付金額上限20万円×3カ月 ※単身世帯は15万円×3カ月）

申請後相談 156件

<p>(3) コロナ禍の貸付事業等を通じて顕在化した複合的な生活課題への対応</p> <p>フォローアップ支援事業の任意事業として、緊急小口資金等特例貸付の償還免除申請不承認世帯に対し手紙を送付し、関係機関と連携しながら、償還困難な世帯が抱える複合的な生活課題について、相談に応じました。</p> <p>手紙送付数：59通</p> <p>(4) 生活福祉資金調査委員会</p> <p>【2月4日（火）開催】</p> <p>議題1 正・福委員長の互選について</p> <p>議題2 生活福祉資金等の事業概要及び令和6年度実績について</p> <p>議題3 令和6年度償還免除について</p> <p>議題4 令和6年度長期滞納者に関わる催促の送付について</p> <p>議題5 不動産担保型生活資金貸付について</p> <p>議題6 新型コロナウイルス感染症に関わる生活福祉資金特例貸付の事業概要と実績及び償還対応について</p>

16 福祉事業基金	9,271,898円
<p>地域福祉推進のため基金の効率的な運用を図り、その基金の一部と運用益とを本会が実施する事業の充当財源としました。</p> <p>基金現在額 364,865,166円 令和6年度積立金額 0円 運用益 5,247,898円</p> <p>国債取得費 0円 取崩し額 4,024,000円</p>	

17 ボランティア基金	3,387,173円
<p>ボランティア活動の振興を目的に寄付金を積み立て、その運用益をボランティア活動に関する事業の充当財源としました。</p> <p>基金現在額 199,084,481円（目標額 2億円）</p> <p>令和6年度積立金額 274,868円 運用益 3,112,305円</p>	

18 在宅福祉サービス推進基金	2,680,180円
<p>在宅福祉サービスの充実を目的として平成29年度に設置した基金の運用益を、在宅福祉サービスの推進に関する事業の充当財源としました。</p> <p>基金現在額 126,500,000円 令和6年度積立金額 0円 運用益 180,180円</p> <p>国債取得費 0円 取崩し額 2,500,000円</p>	

19-1 歳末たすけあい事業		3,803,603円
①歳末たすけあい運動	共同募金の一環として、町会・自治会、民生・児童委員協議会等の団体や、法人、個人の協力を得て「歳末たすけあい(中央区地域福祉推進)募金」を実施しました。	
	※募金実施期間 令和6年12月1日～12月31日	
	募金額計 9,749,220円(目標額 10,000,000円)	
	内 訳	
	町会・自治会、女性団体等	8,880,625円
	個人・法人等	868,595円
②見舞金の贈呈	在宅の寝たきり高齢者を介護している家族の方等へ見舞金を贈呈しました。	
	贈呈額 3,090,000円	
	(贈呈先)	
	・在宅の寝たきり高齢者を介護する方	259名 (1,860,000円)
	・在宅の心身障害児の保護者	238名 (1,215,000円)
	・交通遺児	1名 (15,000円)
③地域福祉活動への配分	令和7年度に実施する福祉団体等への助成や小地域福祉活動、各種ボランティア活動の支援等地域福祉の推進に活用します。	
	地域福祉活動費 5,945,617円(令和7年度に以下の事業に配分予定)	
	【児童福祉】	※〔 〕内は配分予定額
	ひとり親家庭日帰りバス研修	〔640,000円〕
	私立保育園運営費助成	〔350,000円〕
	入進学児童・生徒への祝品贈呈	〔140,000円〕
	【障害者福祉】	
	福祉団体等助成	〔2,580,000円〕
	障害者支援施設助成	〔100,000円〕
	【高齢者福祉】	
	高齢者クラブ連合会慰安大会	〔650,000円〕
	会食と交流事業「ほがらかサロン」	〔145,617円〕
	【ボランティア活動】	
	ボランティア講座等の開催	〔100,000円〕
	ボランティア活動団体助成	〔150,000円〕
	【その他地域福祉】	
	ふれあい福祉委員会の支援	〔800,000円〕
	いきいき地域サロンの支援	〔140,000円〕
	ハンディキャブ貸出事業	〔150,000円〕

19-2 赤い羽根共同募金事業

①赤い羽根共同募金事業

「赤い羽根共同募金」の実施主体である中央地区協力会の事務局を本会が担い、町会・自治会、民生・児童委員協議会等の団体や、法人、個人の協力を得ながら「歳末たすけあい募金」と併せて共同募金事業を一体的に実施しました。

寄せられた募金は中央区内の民間福祉施設・団体等へ配分されるほか、町会・自治会の地域福祉活動にも使用します。

※募金実施期間 令和6年10月1日～12月31日

(1) 募金額計 2,778,810円（目標額 3,500,000円）

内 訳	町会・自治会等(各戸募金)	2,668,993円
	個人・法人・募金箱等	58,048円
	職域募金	51,769円

(2) 募金配分

① 地域配分（令和7年度に配分予定） 計 1,570,000円

中央区内の福祉施設及び団体の設備費用や事業に対し配分します。

中央区身体障害者福祉団体連合会	170,000円
中央区肢体不自由児者父母の会	40,000円
中央区視覚障害者福祉協会	50,000円
中央区聴覚障害者協会	30,000円
中央区心身障害児・者の進路と生活を考える会	60,000円
中央区つつじ会	50,000円
リバーサイドつつじ	300,000円
高齢者総合福祉施設 晴海苑	270,000円
特別養護老人ホーム 新とみ	300,000円
中央区社会福祉協議会	300,000円

② 小地域福祉活動費（令和6年度に配分済） 計 266,899円

赤い羽根共同募金に協力のあった町会・自治会に対し、各戸募金額の10%を町会活動費として配分しました。

※その他の募金は、東京都共同募金会から都内福祉施設等に配分されます。

②地区配分推せん委員会の運営

「歳末たすけあい募金」と「赤い羽根共同募金」の配分の透明性と募金使途の明確化を図ることを目的に「配分推せん委員会」を設置し、地域住民の意思や福祉ニーズを反映した公平な募金配分に努めました。

区民と地域課題や困りごとを共有し、解決方法を一緒に考え、交流を深める取り組みを進める地域福祉コーディネーターを配置しました。アウトリーチによる地域課題や困りごとの把握及び支援、社会的孤立に対応した居場所「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」の運営、地域共生社会の実現に向けた各種講座の開催、区民と連携したプログラムの実施等を行いました。

地域福祉コーディネーターと生活支援コーディネーターの両者が参加するミーティングを定期的に行い、複雑化・複合化した課題の早期把握に努めるとともに、課題解決に向けて連携して支援を行いました。また、区内3地域に設置されている「第2層協議体」の交流会開催や、「地域福祉ワークショップ」を中央区と共催するなど地域住民相互の連携を図るとともに、日頃からコーディネーターも地域住民との意見交換に努め、地域生活課題の把握・解決に向けて取り組みました。

<充実事業>

8050問題やひきこもりなど複雑化・複合化した課題を抱える方からの相談について、地域福祉コーディネーター、生活支援コーディネーター、「ふくしの総合相談窓口」がともに連携しながら対応し、面談後のアウトリーチを含めた切れ目のない伴走支援を行いました。また、区内3ヵ所となった多世代交流スペースを活用しながら、地域活動の立ち上げ支援等の地域づくり事業を推進しました。

(1) 京橋地域における多世代交流スペースの開設

<新規事業>

日本橋地域（はまる一む）、月島地域（勝どきデイルーム）に続き、京橋地域における多世代交流スペースとして、令和6年7月から区役所本庁舎に「築地交流スペース ツキチカ！」を開設しました。「ツキチカ！」の活用により、地域団体の活動や新たな団体の立ち上げを支援するとともに、京橋地域の第2層協議体による地域のつながりづくりや「ふくしの総合相談窓口」との連携による関係機関とのネットワークづくりに取り組みました。

(2) 相談支援件数 ※生活支援コーディネーター計上分含む

個別支援回数 2,116回（全53ケース） 地域支援回数 1,951回（全71ケース）

(3) おとなりカフェ・ちょこっと相談会

コーヒーやジュース等を飲みながら、多世代交流を楽しむことができるコミュニティカフェ「おとなりカフェ」と、社会福祉士等が生活の悩みごとや困りごとの相談に応じる「ちょこっと相談会」を開催しました。なお、聖路加健康ナビスポット：るかなびでは、ちょこっと相談会のみ開催しました。また、勝どきデイルームが設備工事で休室となった1月から3月は、月島清澄通りコミュニティルーム等で「おとなりカフェ・ちょこっと相談会」を開催しました。

①築地交流スペース「ツキチカ！」（京橋地域）

開催日 第2金曜日：10時～13時、第3金曜日：13時～16時

実施回数 26回 来場者数 143名 相談件数 18件

②聖路加健康ナビスポット：るかなび（京橋地域）

開催日 第1金曜日：14時～16時

実施回数 12回 来場者数 18名 相談件数 15件

③多世代交流スペース「はまる一む」（日本橋地域）

開催日 毎週木曜日、第1・3日曜日：13時～17時

実施回数 71回 来場者数 915名 相談件数 101件

④勝どきデイルーム（月島地域）

開催日 第1・3土曜日、第2・4火曜日：13時～16時

実施回数 43回 来場者数 529名 相談件数 91件

（4）地域活動拠点を活用した区民主体の取り組み

①築地交流スペース「ツキチカ！」

活動団体数 8団体 活動回数 27回

（子ども関係 3団体、対象制限なし 5団体）

②多世代交流スペース「はまる一む」

活動団体数 10団体 活動回数 72回

（高齢者関係 1団体、子ども関係 7団体、対象制限なし 2団体）

③勝どきデイルーム

活動団体数 22団体 活動回数 195回

（高齢者関係 4団体、子ども関係 8団体、対象制限なし 10団体）

（5）講座の開催

①場づくり入門講座

地域共生の場を立ち上げて運営するリーダーを養成する講座を開催しました。

開催日 8月21日（水）～10月16日（水） 計 6回

会場 本会会議室またはオンライン 参加者 27名（延べ参加者数58名）

②ささえあいサポーター養成講座

地域で不安や悩みを抱えた人たちに気づき、必要な支援へとつなぐ見守りの担い手を養成する講座を開催しました。

開催日・会場 [京 橋] 6月26日（水） 築地交流スペースツキチカ！

[日本橋] 7月2日（火） 多世代交流スペースはまる一む

[月 島] 7月3日（水） 勝どきデイルーム

参加者 [京橋] 6名、[日本橋] 6名、[月島] 6名

③特別講座「地域に必要なささえあいとは」

地域に必要なささえあいについて学ぶ講座を開催しました。

開催日 8月28日（水）

会場 本会会議室 参加者 14名

④グリーフサポート入門講座

地域で孤立しがちな方の背景にあるグリーフ（身近な人を亡くした悲しみや喪失感）について学び、区民同士の支え合い活動に活かす講座を開催しました。

開催日 基礎編：10月9日（水）

実践編：10月30日（水）

会場 本会会議室

参加者 基礎編：30名 実践編：22名

⑤スマホささえ隊養成講座

高齢者のスマホの困りごとに応じることで、ささえあいのまちづくりを推進するボランティアを養成する講座を開催しました。

開催日 7月31日（水）、8月7日（水）

会 場 本会会議室

参加者 20名（延べ参加者数34名）

⑥地域交流講座

防災をテーマに地域住民の交流やつながりづくりを目的とした講座を開催しました。

開催日： 6月22日（土） 【京 橋】築地交流スペースツキチカ！

7月27日（土） 【日本橋】多世代交流スペースはまる一む

8月3日（土） 【月 島】勝どきデイルーム

3月16日（日） 【日本橋】多世代交流スペースはまる一む

参加者 【京橋】 7名、【日本橋】20名、【月島】12名

（6）地域生活一時資金貸付事業

住居などが管理不全な状態にあり、生活の質が著しく低下している方の生活環境の改善に向け、貸付事業を行いました。利用実績はありませんでした。

ゴミ処分費（1件につき上限200,000円）

その他生活環境改善に必要な費用（上限30,000円）

（7）地域の居場所づくり助成

区民のための居場所づくりを目的とした取り組みに対し、必要な費用を助成する制度を実施しましたが、利用実績はありませんでした。

＜充実事業＞

多世代交流を図ることを目的とする「みんなの食堂」等、食事を提供する地域活動を行う団体に対して、運営経費の一部を補助する制度を新設しました。また、サロン活動に対して会場使用料の一部を補助するなど、住民が身近な地域でつながりづくりや課題解決のための活動に取り組めるよう、支援の拡充を図りました。

高齢者の生活支援や介護予防の基盤整備を担う生活支援コーディネーターを配置しました。また、担い手の養成やサービスの開発を目的とした協議体（第1層）の運営に携わり、関係機関のネットワーク化を進め、地域のニーズと資源の把握を図った他、各地域の特性を生かした支えあいの仕組みづくりを目的とした協議体（第2層）を設置及び運営し、中央区に住む方、働く方と協議を進めました。

生活支援コーディネーターと地域福祉コーディネーターの両者が参加するミーティングを定期的に開催し、複雑化・複合化した課題の早期把握に努めるとともに、課題解決に向けて連携して支援を行いました。また、区内3地域に設置されている「第2層協議体」の交流会開催や、「地域福祉ワーク中央区と共催するなど地域住民相互の連携を図るとともに、日頃からコーディネーターも地域住民とシヨップ」をの意見交換に努め、地域生活課題の把握・解決に向けて取り組みました。（再掲）

（1）相談支援件数（65歳以上対象）

個別支援回数 538回（全28ケース） 地域支援回数1,055回（全45ケース）

（2）地域支えあいづくり協議体（第1層）

【第1回 7月2日（火）開催】

議題 高齢者施策推進室より報告

生活支援コーディネーターによる取り組みについて

支えあいのまちづくり協議体（第2層）実施報告

意見交換 『災害時から考える支えあいの仕組みづくりについて』

【第2回 1月24日（金）開催】

議題 高齢者施策推進室より報告

生活支援コーディネーターによる取り組みについて

支えあいのまちづくり協議体（第2層）実施報告

意見交換 『高齢者のICT活用支援の課題と今後の取組について』

（3）支えあいのまちづくり協議体（第2層）

〔京橋地域〕 開催日 5月29日、7月30日、10月29日、1月21日

会 場 築地交流スペース「ツキチカ！」

内 容 高齢者が抱える課題の把握について等

〔日本橋地域〕 開催日 6月4日、9月3日、12月3日、3月4日

会 場 多世代交流スペース「はまる一む」

内 容 高齢者に向けた情報発信ツールの作成と活用について等

〔月島地域〕 開催日 4月24日、7月30日、11月26日、2月7日

会 場 勝どきダイルム他

内 容 高齢者のICT活用によるつながりづくりについて等

〔情報交換会〕 開催日 11月21日

会 場 本会会議室

内 容 3地域での取り組み報告、意見交換等

<新規事業>

中央区における重層的支援体制整備事業の一環として、令和6年4月1日に区行政との連携・協働により「ふくしの総合相談窓口」を開設しました。

「ふくしの総合相談窓口」に寄せられた多様な相談を包括的に受け止め、相談者に寄り添いながら複雑化・複合化した生活課題を整理し、関係機関と連携して支援することにより解決へとつなげることができました。また、こうした事例の積み重ねを通じて関係機関と顔の見える関係を築き、包括的な相談支援、アウトリーチ等を含めた継続的な支援のほか、参加支援、地域づくり支援の推進に向けた連携強化を図りました。

(1) 新規相談件数（実人数）			
生活困窮に関する相談	370人	その他の相談	241人
		合計	611人
(2) 継続相談件数（実人数） ※受託前からの継続ケース			
生活困窮に関する相談	375人	その他の相談	147人
		合計	522人

Ⅱ 社会福祉事業 さわやかワーク中央拠点区分 112,678,125円

1 さわやかワーク中央（就労継続支援事業B型） 49,040,750円

一般企業等での就労が困難な障害のある方を対象に、軽作業や施設外就労など福祉的就労の場の提供を通じて、知識・能力の向上に必要な訓練等の支援を行うとともに日中活動の充実を図りました。

(1) 利用状況（令和6年度末在籍者）

	性 別		障害別			
	男性	女性	身体障害	知的障害	精神障害	その他
計	7名	8名	2名	12名	1名	0名

〔協力員〕 男性 1名 女性10名 計 11名

(2) 作業工賃

年間作業工賃 5,849,298円

支払人数 延べ213名（一人当たり平均工賃 月額37,437円）

(3) 就労支援事業収入の状況

分 類	内 容	収入額
軽作業の受託	タオル折り、封入、仕分け作業、アクセサリー等の袋詰作業	1,513,212円
点字名刺の作成	企業等からの受注により名刺の社名・氏名・電話番号等を点字化	312,280円
公園清掃等の受託	区立あやめ第一・第二公園、民間企業敷地内、区立図書館外構等、区立総合案内板等の清掃	5,088,160円
自主製品等の製作・販売	自主製品販売（使用済み切手を利用した加工品、アクセサリー等）	171,940円
合 計		7,085,592円

(4) 障害者就労促進部運営委員会

【2月28日（金）開催】

議題1 令和6年度「さわやかワーク中央」事業報告

2 令和6年度中央区障害者就労支援センター事業報告

3 令和6年度「さわやかワーク中央」第三者評価結果報告

(5) 区内障害者就労支援事業所による共同受注体制の充実

利用者に支給する工賃支給額のさらなる向上を目的に、単独の事業所では請け負いが困難な大ロットかつ高単価の仕事を受注するため、「さわやかワーク中央」が中心となって区内の障害者就労支援事業所をとりまとめ、東京都共同受注窓口とも連携して情報共有や共同受注案件の新規開拓に向けた広報活動を行いました。

- (6) 「さわやかワーク中央」を活用した居場所づくりの推進
- 地域住民や障害者等の日中の居場所づくりに向けた取り組みとして、「さわやかワーク中央」のスペースを活用した「おとなりカフェ・ちょこっと相談会（コミュニティカフェ兼福祉相談会）」を開催しました。また、利用者の日常生活のスキルアップを目的として、「手話講座」や、近隣中学校の生徒を講師に「特殊詐欺防止講座」を実施しました。
- (7) 虐待防止・身体拘束適正化委員会の開催
- 施設内での虐待防止や身体拘束の適正化を図ることを目的に移動介護サービスセンターおよび障害者就労支援センターと合同で虐待防止・身体拘束適正化委員会を開催しました。
- 開催日時：3月10日（月） 会場：さわやかワーク中央6階会議室
- 内容：虐待防止・身体拘束適正化計画の見直し、事例検討等

2 障害者就労支援センター事業

63,637,375円

- (1) 利用状況
- 障害のある方の一般企業等への就職の機会を広げ、就職後も安心して働き続けられるよう就労や生活に関する相談・支援を行うことにより自立と社会参加の促進を図りました。
- | 区 分 | 人 数 | 内 訳 |
|------|------|--|
| 登録者数 | 290名 | 身体障害者 33名、知的障害者 107名、精神障害者 150名 |
| 就職者数 | 34名 | 身体障害者 5名、知的障害者 11名、精神障害者 18名
〔就職先〕一般企業31名、特例子会社3名 |
- (2) 相談・支援実績
- | 区 分 | 件 数 | 内 容 |
|------|----------|---|
| 就労支援 | 延5,416件 | 職業相談 4,919件、就職準備支援 94件、
職場開拓 31件、実習・訓練支援 5件、
職場定着支援 331件、離職調整・離職後支援 36件 |
| 生活支援 | 延 1,454件 | 日常生活支援 498件、不安・悩みの解消 502件、
社会生活支援 437件、将来設計支援 17件 |
- (3) 地域開拓促進
- 福祉施設等に在籍している就労希望者を積極的に就職に結び付けていくため、地域開拓促進コーディネーターが施設へ企業の就労情報を提供し、福祉的就労から一般就労への環境整備を進めました。また、障害者雇用への理解と啓発を図るため、本人・家族、企業向けの講演会を開催しました。
- 企業等への地域開拓促進 163件

〔講演会等〕

障害者雇用セミナー2024「働く・雇用する・支える」

- ・上映会・相談会・体験会

開催日：11月10日（日） 会場：本の森ちゅうおう 1階多目的ホール

参加者数：上映会17名、相談会 5 名、体験会24名

- ・WEB配信

配信期間：11月10日（日）～12月 1 日（日）まで

再生回数：338回

（4）余暇支援事業

就職者が終業後に自由に集える場（愛称：ニコニコドットコム）や、交流の場を提供するとともに、就職後の生活面・精神面の支援を継続して行い、障害のある方の職場定着と地域生活の充実を図りました。併せて、生活面のスキル向上を目的とした講座を開催しました。

また、勤続年数に応じた表彰と交流の場として、アラジンドットコムを開催しました。

ニコニコドットコム開催回数 12回 参加者 延べ228名

スキルアップ講座 開催回数 2回

- ・第1回 9月27日（金）「日常生活を整える」 参加者23名

- ・第2回 2月28日（金）「大切なお金と自分を守る」 参加者20名

アラジンドットコム

開催日：1月11日（土） 会場：喫茶アラジン 参加者25名

（5）就労支援事業所ネットワーク会議

区内の障害者就労継続支援A・B型施設等の担当者とネットワークを組み、障害者就労促進を目的に相互の情報交換や啓発活動を行いました。

開催回数 4回

（6）指定特定相談支援（障害福祉サービス等利用計画の作成）

主に就労を目指すために障害福祉サービスを利用しようとする方に対し、サービス等利用計画を作成するとともに、相談や福祉サービス情報の提供を行いました。

また、事業者等と連携し、サービスが円滑に提供されるように連絡や調整を行いました。

〈充実事業〉

利用者が抱えている課題の解決や適切なサービスの利用に向けたきめ細やかな計画相談支援体制の充実を図りました。また、研修の積極的な受講等により、相談支援専門員の専門性向上を図りました。

令和6年度契約者数 92名 相談支援等件数 3,728件

【虐待防止・身体拘束適正化委員会】

開催日 3月10日（月） 会場 さわやかワーク中央会議室

内 容 虐待防止・身体拘束適正化計画の見直し、事例検討等

（さわやかワーク中央、移動介護サービスセンターと合同で開催）

Ⅲ 公益事業 本部拠点区分

19,678,517円

1 シルバーワーク中央事業（高年齢者無料職業紹介事業）

19,678,517円

概ね55歳以上の高年齢者を対象に、フルタイム勤務からパートタイムまで雇用全般の仕事を無料で紹介し、高年齢者の社会参加と地域生活を支援しました。

また、多様な職種への就業機会を拡大するため、再就職支援セミナーやシルバーワーク中央独自の就職面接会を開催したほか、区内事業所の求人開拓に取り組み、自所求人確保に努めました。

（1）求職者

新規 955名 再来 974名 計 1,929名

（2）就職者 141名 就職率（就職者/新規求職者）14.8%

〔就職者の職種分布〕

専門技術	8名[6%]	事務	29名[20%]
販売	9名[6%]	生産工程	1名[1%]
労務	10名[7%]	清掃	30名[21%]
保安	8名[6%]	調理	13名[9%]
管理人	14名[10%]	福祉	3名[2%]
管理職	1名[1%]	サービス	14名[10%]
その他	1名[1%]		

（3）事業所訪問 45件

（4）就職面接会

開催日	場所	参加者	参加企業	就職者	主催
6月20日（木）	産業会館	23名	8社	5名	シルバーワーク中央
10月28日（月）	中央区役所	44名	13社	6名	シルバーワーク中央
3月4日（火）	中央区役所	51名	9社	7名	中央区地域雇用問題 連絡会議

（5）再就職支援セミナー

開催日	場所	テーマ	参加者
4月18日（木）	築地社会 教育会館	人生100年時代を生きていくためのヒント	49名
11月25日（月）	本の森ちゅうおう	人生100年時代に向けての再就職準備	31名

（6）就職説明会&相談会等

開催日	場所	内容	参加者
8月27日（火）	月島区民センター	企業による職種説明・相談会	33名
12月11日（水）	はるみらい	専門家講師による基調講演とシルバー ワーク中央の利用案内/情報提供	20名

(7) その他セミナー等（東京しごと財団主催、中央区・シルバー人材センター、シルバーワーク中央が共催で実施）

開催日	場 所	テ ー マ	参 加 者
1月21日（火）	日本橋社会教育会館	生涯現役！シニア期に向けた暮らしと働き方セミナー	27名
3月7日（金）	ブーケ21	人生を豊かにするためのリタイアプランニング （『退職後の生き方塾』の中の1日）	16名

(8) シニア就業支援キャラバン事業等への参加（都主催）

開催日	場 所	参 加 者
10月2日（水）	新宿NSビル	アクティブシニア就業支援センターブース来所者40名・セミナー参加者53名
11月20日（水）	日暮里サニーホール	面接会92名・セミナー93名・ブース来所者14名
3月5日（水）	ベルサール飯田橋駅前	面接会138名・セミナー138名・ブース来所者12名

(9) おとなりカフェ・ちょこっと相談会での出張相談

場 所	実施回数	相談件数
勝どきデイルーム	11回	39件
はまる一む	10回	18件

IV 収益事業 本部拠点区分

14,684,570円

1 自動販売機設置事業

12,770,970円

飲料や証明写真の自動販売機を公共施設等に設置し、その収益を本会が実施する事業の財源としました。

設置台数 61台（飲料59台、証明写真機2台） 収益額 12,770,970円

2 駐車場事業

1,913,600円

駐車場を運営し、その収益を本会が実施する事業の財源としました。

収 益 額 1,913,600円

名 称 M. S U Z U K I 駐 車 場 面積 77㎡

設置場所 中央区日本橋浜町三丁目29番5号



令和6年度各拠点・事業決算総括表

1 予算額対比

(単位：円)

拠点区分		予算額	決算額	差異	頁
サービス区分	事業名				
社会福祉事業本部拠点区分		570,120,000	499,962,453	70,157,547	3
法人運営サービス区分		250,243,000	217,506,534	32,736,466	3
	人件費・福利費	163,028,000	155,235,703	7,792,297	－
	退職金支払、積立	44,584,000	34,469,407	10,114,593	－
	庶務事務	31,640,000	19,656,396	11,983,604	－
	会議	1,162,000	510,533	651,467	3
	社協会員	962,000	521,955	440,045	5
	寄付	3,094,000	1,802,142	1,291,858	5
	広報	5,513,000	5,170,591	342,409	5
	地域福祉活動計画	260,000	139,807	120,193	5
地域福祉事業サービス区分		10,864,000	8,597,857	2,266,143	8
	ひとり親家庭日帰りバス研修	795,000	582,385	212,615	8
	盂蘭盆法要	692,000	691,266	734	8
	車いす・シルバーカーの貸し出し	717,000	214,201	502,799	8
	福祉団体等助成	3,738,000	3,738,000	0	8
	入進学祝い品贈呈	3,046,000	1,995,495	1,050,505	9
	ひとり親職業訓練貸付事業	20,000	5,000	15,000	9
	ハンディキャブの貸し出し	1,856,000	1,371,510	484,490	9
小地域活性化事業サービス区分		4,637,000	3,477,680	1,159,320	10
	ほがらかサロン	1,875,000	1,591,601	283,399	10
	ふれあい福祉委員会	1,454,000	1,192,408	261,592	10
	いきいき地域サロン	1,308,000	693,671	614,329	11
虹のサービス事業サービス区分		4,226,000	3,433,189	792,811	12
成年後見支援事業サービス区分		57,793,000	53,348,976	4,444,024	14
	権利擁護支援事業	23,004,000	22,472,491	531,509	14
	成年後見支援事業	30,310,000	28,859,671	1,450,329	14
	成年後見助成事業	4,098,000	1,714,342	2,383,658	16
	社会貢献型後見人養成講習	381,000	302,472	78,528	17
ボランティア活動推進事業サービス区分		7,551,000	4,438,122	3,112,878	19
	ボランティア活動の支援	3,301,000	2,263,259	1,037,741	19
	ボランティア講座	1,860,000	931,118	928,882	21
	ボランティア団体等助成	2,390,000	1,243,745	1,146,255	21

拠点区分		予算額	決算額	差異	頁
サービス区分	事業名				
	健康福祉まつり事業サービス区分	5,622,000	5,188,375	433,625	22
	地域活動情報等発信事業サービス区分	2,227,000	2,226,260	740	22
	災害ボランティア育成支援事業サービス区分	630,000	502,705	127,295	22
	高齢者食事サービス事業サービス区分	23,416,000	21,125,033	2,290,967	23
	ファミリー・サポート・センター事業サービス区分	27,870,000	23,322,876	4,547,124	24
	コミュニケーション支援事業サービス区分	2,915,000	2,641,480	273,520	25
	障害者外出介護事業サービス区分	4,151,000	3,346,873	804,127	26
	チャレンジ支援貸付事業サービス区分	10,141,000	8,462,001	1,678,999	27
	生活福祉資金等貸付事業サービス区分	14,935,000	14,903,000	32,000	28
	福祉事業基金サービス区分	14,748,000	9,271,898	5,476,102	29
	ボランティア基金サービス区分	3,412,000	3,387,173	24,827	29
	在宅福祉サービス推進基金サービス区分	5,176,000	2,680,180	2,495,820	29
	歳末たすけあい事業サービス区分	4,686,000	3,803,603	882,397	30
	地域福祉コーディネーター事業サービス区分	52,641,000	47,212,530	5,428,470	32
	人件費	34,979,000	34,978,600	400	32
	事務費	10,010,000	6,211,418	3,798,582	32
	小口資金貸付	460,000	0	460,000	32
	はまる一む	5,561,000	5,153,539	407,461	33
	勝どきデイルーム	412,000	153,470	258,530	33
	ツキチカ！	1,219,000	715,503	503,497	33
	生活支援コーディネーター事業サービス区分	26,120,000	25,589,483	530,517	35
	「ふくしの総合相談窓口」との連携・協働サービス区分	36,116,000	35,496,625	619,375	36
社会福祉事業さわやかワーク中央拠点区分		133,246,000	112,678,125	20,567,875	37
	さわやかワーク中央サービス区分	67,963,000	49,040,750	18,922,250	37
	就労継続	7,611,000	7,085,592	525,408	37
	運営管理	60,352,000	41,955,158	18,396,842	37
	障害者就労支援センター事業サービス区分	65,283,000	63,637,375	1,645,625	38
	就労支援	41,143,000	39,771,457	1,371,543	38
	計画相談	24,140,000	23,865,918	274,082	39
公益事業本部拠点区分		22,554,000	19,678,517	2,875,483	40
	シルバーワーク中央事業サービス区分	22,554,000	19,678,517	2,875,483	40
収益事業本部拠点区分		12,853,000	14,684,570	△ 1,831,570	42
	自動販売機設置事業サービス区分	10,954,000	12,770,970	△ 1,816,970	42
	駐車場事業サービス区分	1,899,000	1,913,600	△ 14,600	42
サービス区分合計		738,773,000	647,003,665	91,769,335	
内部取引消去		△ 33,008,000	△ 26,842,277	△ 6,165,723	
合 計		705,765,000	620,161,388	85,603,612	

※執行率 88%

2 決算額対比

(単位：円)

拠点区分	令和6年度 (内部取引消去前)	令和5年度 (内部取引消去前)	差異
I 社会福祉事業本部拠点区分	499,962,453	483,265,040	16,697,413
II 社会福祉事業 さわやかワーク中央拠点区分	112,678,125	108,699,760	3,978,365
III 公益事業本部拠点区分	19,678,517	18,778,209	900,308
IV 収益事業本部拠点区分	14,684,570	13,994,674	689,896
内部取引消去	△ 26,842,277	△ 27,335,946	493,669
合 計	620,161,388	597,401,737	22,759,651

各拠点区分・事業の主な増減 (単位：千円)

I 社会福祉事業本部拠点区分

[法人運営サービス区分]

- ・常勤職員3名区派遣終了等による人件費減 (△13,235)
- ・勤怠管理システム導入および健康診断料一括計上による福利費増 (520)
- ・定年退職者退職金等による増 (27,587)、
- ・みんなの食堂等支援補助金皆増等による庶務事務費増 (7,533)

[地域福祉事業サービス区分]

- ・福祉団体助成額増およびハンディキャプの実績増等による増 (836)

[成年後見支援事業サービス区分]

- ・人事委員会勧告等に係る人件費増 (1,502)

[高齢者食事サービス事業サービス区分]

- ・食数増に係る業務委託費増増等による増 (883)

[チャレンジ支援貸付事業サービス区分]

- ・非常勤から常勤への転換による人件費増 (1,071)

[生活福祉資金等貸付事業サービス区分]

- ・人事委員会勧告に係る人件費増等による増 (996)

[福祉事業基金サービス区分]

- ・財源充当に係る取り崩し皆増 (4,024)

[在宅福祉サービス推進基金サービス区分]

- ・財源充当に係る取り崩し皆増 (2,500)

[地域福祉コーディネーター事業サービス区分]

- ・ツキチカ！開所および人事委員会勧告に係る人件費増等による増 (6,534)

[「ふくしの総合相談窓口」との連携・協働サービス区分]

- ・京橋地域「ツキチカ！」開所に係る皆増 (3,550)

II 社会福祉事業さわやかワーク中央拠点区分

[さわやかワーク中央サービス区分]

- ・常勤職員欠員等に係る人件費減等による減 (7,269)

[障害者就労支援センター事業サービス区分]

- ・人員増および人事委員会勧告に係る人件費増 (10,638)

IV 収益事業本部拠点区分

[自動販売機設置事業サービス区分]

- ・自動販売機設置手数料実績増 (538)